

## 教育研究評議会（第 58 回）議事要旨

- I. 日 時 2008 年（平成 20 年）5 月 27 日（火）16 時 40 分～17 時 50 分
- II. 場 所 本部管理棟 2 階中会議室
- III. 出席者 亀山学長、小林理事、宮崎理事、酒井理事、高垣外国語学部長、和田地域文化研究科長、大塚アジア・アフリカ言語文化研究所長、田山留学生日本語教育センター長、谷川附属図書館長、井上保健管理センター所長、栗原アジア・アフリカ言語文化研究所情報資源利用研究センター長、石井教授、藤井(守)教授、相馬教授、成田教授、峰岸教授、小林(幸)教授、金口事務局長の各評議員（合計 18 名）
- IV. 配付資料
1. 教育研究評議会(第 57 回)議事要旨(案)
  2. 平成 20 年度戦略的大学連携支援事業公募要領
  3. 国際基督教大学との連携関係について
  4. 「日本語教育研究の世界的な拠点」の形成—日本語教育研究の基盤整備—(素案)
  5. 東京外国語大学名誉教授称号授与候補者一覧
  6. 平成 20 年度科学研究費補助金採択状況一覧
  7. 出版会について
  8. 平成 20 年度大学院教育改革支援プログラム計画調書

○ 教育研究評議会(第 57 回)議事要旨確認について

亀山学長から、教育研究評議会第 57 回議事要旨について、確認願いたい旨の発言があり、これを確認した。

## V. 議 事

### <審議事項>

#### 1. 戦略的大学連携支援事業について

亀山学長から、配付資料に基づき、戦略的大学連携支援事業等について、「総合的連携型のうち、「地元型」については、特定大学との連携事業での申請を考えていたが、先方からは、本学の連携事業の申し入れに対し直ちに了承することは難しいとのことであった。ただし、連携事業の申請の有無に関わらず、研究・教育・スポーツ交流等の大学間連携として積極的に進めていきたい。また、「広域型」については、4 大学連合（東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学）を中心とした連携事業を考えていたが、4 大学での申請は期待できない状況となっている。これらのことから、本支援事業への本年度申請については、「地元型」のみとし、更に検討を進める。」とした、経営戦略会議における審議結果の説明と、この方向性を了承願いたい旨発言があり、審議の後、これを了承した。

## 2. 国際日本研究センター（ICJS）（仮称）について

宮崎理事から、配付資料に基づき、国際日本研究センター（ICJS）（仮称）について説明があり、平成 21 年度概算要求をすることについて審議の後、これを了承した。

## 3. 東京外国語大学名誉教授称号授与について

高垣外国語学部長から、配付資料に基づき、外国語学部教授会で承認した候補者 6 名について説明があり、審議の後、これを承認した。

引き続き、大塚アジア・アフリカ言語文化研究所所長から、配付資料に基づき、アジア・アフリカ言語文化研究所教授会で承認した候補者 2 名について紹介があった。このうち 1 名については、「国立大学法人東京外国語大学名誉教授称号授与規程」第 2 条第 1 項の授与条件である勤務年数 15 年を満たしてはいないが、当人の国際的な評価を得た研究実績を踏まえ第 2 条第 2 項に該当することから推薦に値する旨の説明があり、審議の後、これを承認した。

### <報告事項>

#### 1. 学長特別補佐の指名について

亀山学長から、学長特別補佐の指名について、7 ヶ月間 1 名欠員としてきたが、今井昭夫教授を社会連携等担当として決定した旨の報告があった。なお、引き続き亀山学長から、今井学長特別補佐には、経営戦略会議の下に置く予定である戦略企画部会（仮称）の委員長をお願いする旨の報告があった。

#### 2. 平成 20 年度科学研究費補助金採択状況について

宮崎理事から、配付資料に基づき、平成 20 年度科学研究費補助金の採択状況について報告があった。

#### 3. 出版会設立について

谷川学術公開推進室長から、配付資料に基づき、出版会設立について、6 月 1 日に設立準備会を設置し、10 月 1 日に出版会を設立する方向である旨の報告があった。また、和田研究科長から、大学院教授会において出版会設立に係る意向調査を実施し、その結果、賛成 61 票、反対 39 票、白紙 17 票（有効投票数 117 票）であった旨の報告があった。

#### 4. 平成 20 年度大学院教育改革支援プログラムの申請について

和田研究科長から、配付資料に基づき、平成 20 年度大学院教育改革支援プログラムの申請について報告があった。

これにつき、和田研究科長から競争的資金申請に係る学内体制の整備に努めてほしいとの要望があった。

#### 5. その他

##### (1) 戦略企画部会（仮称）の委員構成について

亀山学長から戦略企画部会（仮称）の委員について紹介があった。委員は以下のとおり。

今井昭夫教授（学部・大学院）、青山亨教授（学部・大学院）、佐野洋教授（学部・大学院）、鈴木義一教授（学部・大学院）、澤田英夫准教授（AA研）、甕隆博准教授（留日センター）、（他1名未定）

（2）麻疹（はしか）患者学生への対応について

井上保健管理センター所長から、5月26日（月）に本学学生の1名から「5月21日（水）から麻疹の診断を受けて自宅療養中である」との報告を受けたこと、また、この学生との濃厚接触者は、この学生から二次感染を受けていないかどうか、潜伏期間（10～12日）をふまえた自己観察を行う必要があることについて報告があった。この対応として、保健管理センターより『ほけせん便り 73号「麻疹（はしか）患者学生との学内濃厚接触者の皆様への注意とお願い」』を配布し、学生等への注意喚起を行った旨報告があった。

○ 亀山学長から、7月の教育研究評議会について一週間繰り上げ平成20年7月15日（火）に開催する旨の連絡があった。

○ 次回の教育研究評議会は、6月24日（火）16:30からとなる旨の連絡があった。

以上